FP STUDY LAB
エフピースタディラボ

FP STUDY LAB｜CFP試験学習サイト（非公式）

CFP®資格審査試験 学習用　オリジナル問題

ライフプランニング・リタイアメントプランニング 問題集

50問

法令の基準日	2026年4月1日時点の制度（問題ごとに記載）
確認状況	全問 作成者による検算済み（有資格者のレビュー前・self-checked）
版	2026-11-14 版（元データ 4cb18a2）

本書は日本FP協会の公式教材ではありません。非公式の学習サービス FP STUDY LAB が作成した、練習用のオリジナル問題集です。無料で配布しています。

はじめにお読みください

- 本書は、学習サービス「FP STUDY LAB」が作成した、CFP®資格審査試験の非公式の学習教材です。日本FP協会（NPO法人日本ファイナンシャル・プランナーズ協会）およびFinancial Planning Standards Board Ltd.（FPSB）とは一切関係がなく、これらの団体が提供・監修・推奨するものではありません。
- 本書の問題はすべて本サイトのオリジナル問題です。CFP®資格審査試験の過去問題を転載したものではありません。
- 問題と解説は、各問題に記載した基準日時点の法令・制度に基づいて作成していますが、正確性を保証するものではありません。法改正により内容が変わることがあります。実際の受験や実務では、必ず最新の法令や公式の情報を確認してください。
- 全問の確認状況は「作成者による検算済み（有資格者のレビュー前・self-checked）」です。有資格者によるレビューは完了していません。
- 教材（問題・解説）の制作の補助と、根拠との照合にAIを利用しています。CFP®資格の保有者・専門家による監修は受けていません。
- 本書には解答を載せていません。正答と解説は、同じ課目の「解答・解説集」で確認してください。
- 問題・解説の内容は、FP STUDY LAB｜CFP試験学習サイト（非公式）の問題データ（Web版と同じもの）から作成しています。Web版で問題を修正した場合は、本書も作り直します。表紙の版の日付を確認してください。

CFP®、CERTIFIED FINANCIAL PLANNER®、およびサーティファイド ファイナンシャル プランナー®は、米国外においてはFinancial Planning Standards Board Ltd.(FPSB)の登録商標で、FPSBとのライセンス契約の下に、日本国内においてはNPO法人日本FP協会が商標の使用を認めています。

目次

第1問	life-001	6つの係数	5
第2問	life-002	公的年金（繰下げ受給）	5
第3問	life-003	6つの係数（年金現価係数）	6
第4問	life-004	公的年金（繰上げ受給）	6
第5問	life-005	健康保険の任意継続被保険者	7
第6問	life-006	健康保険の傷病手当金	7
第7問	life-007	6つの係数（減債基金係数）	8
第8問	life-008	住宅ローン（元金均等返済）	8
第9問	life-009	老齢基礎年金の年金額（免除期間）	9
第10問	life-010	国民年金保険料の追納	9
第11問	life-011	6つの係数（終価係数）	10
第12問	life-012	6つの係数（年金終価係数）	10
第13問	life-013	遺族基礎年金	11
第14問	life-014	障害基礎年金（1級の年金額）	11
第15問	life-015	付加年金	12
第16問	life-016	雇用保険（基本手当の受給要件）	12
第17問	life-017	後期高齢者医療制度	12
第18問	life-018	介護保険の被保険者	13
第19問	life-019	住宅ローンの繰上げ返済	13
第20問	life-020	iDeCoの掛金と所得控除	13
第21問	life-021	6つの係数（現価係数）	14
第22問	life-022	健康保険の出産手当金	14
第23問	life-023	健康保険の埋葬料	15
第24問	life-024	国民年金の第3号被保険者	15
第25問	life-025	寡婦年金	15
第26問	life-026	死亡一時金	16
第27問	life-027	労災保険の休業補償給付	16
第28問	life-028	付加保険料と国民年金基金	17
第29問	life-029	老齢基礎年金の受給資格期間	17
第30問	life-030	キャッシュフロー表（将来の生活費）	18
第31問	life-031	厚生年金保険の被保険者（年齢）	18
第32問	life-032	遺族厚生年金の額	19
第33問	life-033	雇用保険の育児休業給付金	19
第34問	life-034	健康保険の保険料の負担	20
第35問	life-035	国民年金の学生納付特例	20
第36問	life-036	労災保険の通勤災害	20

第37問	life-037	健康保険の一部負担金（70歳以上）	21
第38問	life-038	確定拠出年金の老齢給付金（受給開始の要件）	21
第39問	life-039	可処分所得	21
第40問	life-040	雇用保険の基本手当の所定給付日数	22
第41問	life-041	雇用保険の適用除外（所定労働時間）	22
第42問	life-042	老齢厚生年金の加給年金額	22
第43問	life-043	厚生年金保険の標準賞与額	23
第44問	life-044	健康保険の保険者	23
第45問	life-045	国民年金の任意加入被保険者	23
第46問	life-046	国民年金保険料の納付期限	24
第47問	life-047	障害基礎年金の保険料納付要件	24
第48問	life-048	遺族の必要保障額	24
第49問	life-049	雇用保険の基本手当の受給期間	25
第50問	life-050	厚生年金保険の保険料	25

課目3　ライフプランニング・リタイアメントプランニング　問題（50問）

第1問　life-001　ライフ・6つの係数・難易度 ★☆☆

1,000万円を年利2%で複利運用しながら、10年間にわたって毎年末に同じ金額を取り崩す。毎年受け取れる金額として、最も適切なものはどれか。

前提条件
- 年利2%・期間10年の各係数は次のとおりとする。終価係数 1.21899、減債基金係数 0.09133、資本回収係数 0.11133。
- 税金や手数料は考慮しない。

A　913,300円

B　1,000,000円

C　1,113,300円

D　1,218,990円

解答欄（　　）

第2問　life-002　ライフ・公的年金（繰下げ受給）・難易度 ★★☆

1960年5月生まれのAさんは、65歳で老齢基礎年金の受給権を得た後、請求をしないまま、68歳に達した月に繰下げの申出をした。Aさんの老齢基礎年金の増額率として、最も適切なものはどれか。

前提条件
- Aさんは65歳の時点で老齢基礎年金の受給資格を満たしている。
- Aさんには、老齢基礎年金以外の公的年金の受給権はないものとする。
- 繰下げの月数は、65歳に達した月から、68歳に達した月の前月までの36か月とする。

A　8.4%

B　14.4%

C　25.2%

D　42.0%

解答欄（　　）

第3問 life-003 ライフ・6つの係数（年金現価係数）・難易度 ★☆☆

65歳から15年間、毎年末に120万円ずつ受け取りたい。年利1%で複利運用するとき、65歳の時点で準備しておくべき金額として、最も適切なものはどれか。

前提条件
- 年利1%・期間15年の各係数は次のとおりとする。現価係数 0.86135、年金現価係数 13.86505、年金終価係数 16.09690。
- 税金や手数料は考慮しない。

A 15,504,300円

B 16,638,060円

C 18,000,000円

D 19,316,280円

解答欄（　　）

第4問 life-004 ライフ・公的年金（繰上げ受給）・難易度 ★★☆

1965年8月生まれのDさんは、62歳に達した月に、老齢基礎年金の全部繰上げを請求した。Dさんの老齢基礎年金の減額率として、最も適切なものはどれか。

前提条件
- Dさんは繰上げ請求の要件を満たしているものとする。
- 繰上げの月数は、請求した月から65歳に達する日の属する月の前月までの36か月とする。

A 14.4%

B 18.0%

C 24.0%

D 25.2%

解答欄（　　）

第5問　life-005　ライフ・健康保険の任意継続被保険者・難易度 ★☆☆

会社を退職した人が、健康保険の任意継続被保険者になる場合に関する記述として、最も適切なものはどれか。

前提条件
- 退職者は、後期高齢者医療の被保険者等ではないものとする。

A　資格喪失日の前日まで継続して1年以上、被保険者であったことが必要である。

B　資格喪失日から3か月以内に申し出ればよい。

C　任意継続被保険者でいられる期間は、最長5年である。

D　資格喪失日の前日まで継続して2か月以上被保険者であった人が、資格喪失日から20日以内に申し出ることで、最長2年間加入できる。

解答欄（　　）

第6問　life-006　ライフ・健康保険の傷病手当金・難易度 ★☆☆

全国健康保険協会管掌健康保険（協会けんぽ）の被保険者が、業務外の病気やケガで仕事を休んだ場合の傷病手当金に関する記述として、最も適切なものはどれか。

前提条件
- 被保険者は任意継続被保険者ではないものとする。
- 休業中に給与は支払われないものとする。

A　傷病手当金は、仕事を休み始めた日（労務に服することができなくなった日）から支給される。

B　傷病手当金の1日あたりの額は、支給開始日以前の直近の継続した12か月間の各月の標準報酬月額を平均した額の30分の1に相当する額の、3分の1に相当する金額である。

C　傷病手当金の支給期間は、同一の病気やケガについて、支給を始めた日から通算して1年6か月間である。

D　任意継続被保険者も、在職中の被保険者と同じ要件で傷病手当金を受けられる。

解答欄（　　）

第7問　life-007　ライフ・6つの係数（減債基金係数）・難易度 ★☆☆

10年後に500万円を準備するため、今後10年間、毎年末に同じ金額を積み立てる。年利2%で複利運用するとき、毎年末に積み立てる金額として、最も適切なものはどれか。下記の係数（年利2%・期間10年）を使って計算すること。

前提条件

- 終価係数 1.21899、現価係数 0.82035、減債基金係数 0.09133、資本回収係数 0.11133、年金終価係数 10.94972、年金現価係数 8.98259
- 税金・手数料は考慮しないものとする。

A　410,175円

B　456,650円

C　500,000円

D　556,650円

解答欄（　　）

第8問　life-008　ライフ・住宅ローン（元金均等返済）・難易度 ★★☆

Jさんは、住宅ローン3,600万円を、返済期間30年（360回の毎月返済）、固定金利年1.2%、元金均等返済で借り入れた。第1回の返済額として、最も適切なものはどれか。

前提条件

- ボーナス返済はないものとする。
- 利息は、毎月の返済時の借入残高に、年利率の12分の1を掛けて計算するものとする。
- 円未満は切り捨てるものとする。

A　100,000円

B　118,050円

C　119,127円

D　136,000円

解答欄（　　）

第9問　life-009　ライフ・老齢基礎年金の年金額（免除期間）・難易度 ★★★

Kさん（国民年金の第1号被保険者の期間のみ）の20歳から60歳までの40年間（480月）の国民年金の記録は、保険料納付済期間432月、保険料全額免除期間（申請による全額免除）24月、学生納付特例の期間24月である。Kさんの老齢基礎年金の額を計算するときに、満額の老齢基礎年金に乗じる割合として、最も適切なものはどれか。

前提条件

- 免除期間・学生納付特例の期間は、いずれも2009年4月以後の期間とする。
- 免除・学生納付特例を受けた保険料の追納はしていないものとする。
- 付加保険料の納付や、そのほかの期間はないものとする。

A　432/480

B　444/480

C　456/480

D　480/480

解答欄（　　）

第10問　life-010　ライフ・国民年金保険料の追納・難易度 ★☆☆

国民年金保険料の免除や学生納付特例を受けた期間の保険料の追納に関する記述として、最も適切なものはどれか。

A　追納できるのは、厚生労働大臣の承認を受けた日の属する月前10年以内の期間の保険料である。

B　追納できるのは、厚生労働大臣の承認を受けた日の属する月前5年以内の期間の保険料である。

C　老齢基礎年金の受給権者であっても、追納することができる。

D　学生納付特例の期間の保険料は、追納することができない。

解答欄（　　）

第11問　life-011　ライフ・6つの係数（終価係数）・難易度 ★☆☆

300万円を年利3%で10年間複利運用した場合の、10年後の元利合計額として、最も適切なものはどれか。下記の係数（年利3%・期間10年）を使って計算すること。

前提条件

- 終価係数 1.34392、現価係数 0.74409、年金終価係数 11.46388、減債基金係数 0.08723、年金現価係数 8.53020、資本回収係数 0.11723
- 税金・手数料は考慮しないものとする。

A　2,232,270円

B　4,031,760円

C　3,900,000円

D　34,391,640円

解答欄（　　）

第12問　life-012　ライフ・6つの係数（年金終価係数）・難易度 ★☆☆

毎年末に24万円ずつ15年間積み立て、年利2%で複利運用する。15年後の元利合計額として、最も適切なものはどれか。下記の係数（年利2%・期間15年）を使って計算すること。

前提条件

- 終価係数 1.34587、現価係数 0.74301、年金終価係数 17.29342、減債基金係数 0.05783、年金現価係数 12.84926、資本回収係数 0.07783
- 税金・手数料は考慮しないものとする。
- 円未満は切り捨てるものとする。

A　3,083,822円

B　3,600,000円

C　4,150,420円

D　4,845,132円

解答欄（　　）

第13問 life-013 ライフ・遺族基礎年金・難易度 ★☆☆

国民年金の遺族基礎年金に関する記述として、最も適切なものはどれか。

前提条件
- 死亡した者は、遺族基礎年金の支給要件（保険料納付要件など）を満たしているものとする。

A 遺族基礎年金を受けられる遺族は、死亡した者によって生計を維持されていた「子のある配偶者」または「子」である。

B 子のない配偶者も、死亡した者によって生計を維持されていれば、遺族基礎年金を受けられる。

C 遺族基礎年金の対象となる子は、20歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある子である。

D 死亡した者によって生計を維持されていた父母も、遺族基礎年金を受けられる。

解答欄（　　）

第14問 life-014 ライフ・障害基礎年金（1級の年金額）・難易度 ★☆☆

障害基礎年金の2級の年金額を、計算を簡単にするため仮に年額85万円とする。障害等級1級に該当する人の障害基礎年金の額（子の加算額を除く）として、最も適切なものはどれか。

前提条件
- 2級の年金額は、上記の仮の金額を用いるものとする。

A 850,000円

B 1,020,000円

C 1,062,500円

D 1,275,000円

解答欄（　　）

第15問 life-015 ライフ・付加年金・難易度 ★☆☆

国民年金の第1号被保険者として、付加保険料を120月納付した人が、老齢基礎年金とあわせて受け取る付加年金の額（年額）として、最も適切なものはどれか。

前提条件
- 付加年金の額の計算に影響するほかの事情はないものとする。

A 24,000円

B 48,000円

C 2,400円

D 4,800円

解答欄（　　）

第16問 life-016 ライフ・雇用保険（基本手当の受給要件）・難易度 ★☆☆

雇用保険の一般被保険者が離職した場合の基本手当の受給要件（原則）に関する記述として、最も適切なものはどれか。

前提条件
- 特定受給資格者・特定理由離職者には該当しないものとする。
- 疾病などによる賃金の支払を受けられない期間はないものとする。

A 離職の日以前1年間に、被保険者期間が通算して12か月以上あることが必要である。

B 離職の日以前2年間に、被保険者期間が通算して6か月以上あれば足りる。

C 被保険者期間の長さにかかわらず、失業していれば基本手当を受けられる。

D 離職の日以前2年間に、被保険者期間が通算して12か月以上あることが必要である。

解答欄（　　）

第17問 life-017 ライフ・後期高齢者医療制度・難易度 ★☆☆

後期高齢者医療制度の被保険者に関する記述として、最も適切なものはどれか。

A 後期高齢者医療広域連合の区域内に住所を有する70歳以上の者が被保険者となる。

B 後期高齢者医療広域連合の区域内に住所を有する75歳以上の者のほか、65歳以上75歳未満で一定の障害の状態にある旨の認定を受けた者が被保険者となる。

C 後期高齢者医療広域連合の区域内に住所を有する65歳以上の者は、全員が被保険者となる。

D 後期高齢者医療制度は、市町村ごとに独立して運営され、広域連合は関与しない。

解答欄（　　）

第18問 life-018 ライフ・介護保険の被保険者・難易度 ★☆☆

公的介護保険の被保険者と保険給付に関する記述として、最も適切なものはどれか。

A 第1号被保険者は、市町村の区域内に住所を有する60歳以上の者である。

B 第2号被保険者は、市町村の区域内に住所を有する40歳以上65歳未満の者で、医療保険に加入しているかどうかを問わない。

C 第2号被保険者は、要介護状態になった原因を問わず、保険給付を受けることができる。

D 第2号被保険者が要介護者として保険給付を受けられるのは、要介護状態の原因である障害が、加齢に伴って生ずる心身の変化に起因する特定疾病によって生じた場合である。

解答欄（　　）

第19問 life-019 ライフ・住宅ローンの繰上げ返済・難易度 ★☆☆

元利均等返済の住宅ローンで、同じ金額を同じ時期に繰上げ返済する場合の「期間短縮型」と「返済額軽減型」に関する記述として、最も適切なものはどれか。

前提条件
- 金利・残りの返済期間など、繰上げ返済の時期以外の条件は同じものとする。

A 一般に、期間短縮型のほうが、返済額軽減型より利息の軽減効果が大きい。

B 一般に、返済額軽減型のほうが、期間短縮型より利息の軽減効果が大きい。

C 期間短縮型は、返済期間は変わらず、毎回の返済額が少なくなる。

D 返済額軽減型は、毎回の返済額は変わらず、返済期間が短くなる。

解答欄（　　）

第20問 life-020 ライフ・iDeCoの掛金と所得控除・難易度 ★☆☆

会社員のJさんが、2026年中に個人型確定拠出年金（iDeCo）の掛金（個人型年金加入者掛金）を年24万円支払った。この掛金の所得税の取扱いとして、最も適切なものはどれか。

前提条件
- 掛金はJさん自身が支払ったものとする。

A 支払った掛金のうち、4万円までが生命保険料控除の対象となる。

B 支払った掛金の全額が、社会保険料控除の対象となる。

C 支払った掛金の全額が、小規模企業共済等掛金控除の対象となる。

D 所得控除の対象とならない。

解答欄（　　）

第21問 life-021 ライフ・6つの係数（現価係数）・難易度 ★☆☆

10年後に500万円を受け取るために、現在一括して準備すべき金額として、最も適切なものはどれか。年利2%で複利運用するものとし、下記の係数（年利2%・期間10年）を使って計算すること。

前提条件

- 終価係数 1.21899、現価係数 0.82035、減債基金係数 0.09133、資本回収係数 0.11133、年金終価係数 10.94972、年金現価係数 8.98259
- 税金・手数料は考慮しないものとする。

A 6,094,950円

B 4,566,500円

C 5,000,000円

D 4,101,750円

解答欄（　　）

第22問 life-022 ライフ・健康保険の出産手当金・難易度 ★☆☆

健康保険の被保険者（任意継続被保険者ではない）が出産のため会社を休んだ場合の出産手当金に関する記述として、最も適切なものはどれか。

前提条件

- 単胎妊娠で、休業中に給与は支払われないものとする。

A 出産手当金は、出産の日以前14日から出産の日後14日までの期間に支給される。

B 出産手当金は、出産の日（出産の日が出産予定日後であるときは出産予定日）以前42日から出産の日後56日までの間で、労務に服さなかった期間に支給される。

C 出産手当金の1日あたりの額は、標準報酬日額の全額である。

D 出産手当金は、被保険者の配偶者が出産した場合にも支給される。

解答欄（　　）

第23問　life-023　ライフ・健康保険の埋葬料・難易度 ★☆☆

健康保険の被保険者が死亡した場合の埋葬料に関する記述として、最も適切なものはどれか。

A　被保険者により生計を維持していた者で、埋葬を行うものに対し、政令で定める金額の埋葬料が支給される。

B　埋葬料は、被保険者の相続人に、相続財産として支給される。

C　埋葬料は、被保険者が業務上の事由で死亡した場合に限り支給される。

D　埋葬料を受けるべき者がいない場合は、何も支給されない。

解答欄（　　）

第24問　life-024　ライフ・国民年金の第3号被保険者・難易度 ★☆☆

国民年金の第3号被保険者に関する記述として、最も適切なものはどれか。

A　第3号被保険者は、自営業者の配偶者で、20歳以上60歳未満の者である。

B　第3号被保険者は、第2号被保険者の配偶者であれば、収入にかかわらず該当する。

C　第3号被保険者は、第2号被保険者の配偶者で、主として第2号被保険者の収入により生計を維持するもの（被扶養配偶者）のうち、20歳以上60歳未満のものである。

D　第3号被保険者は、60歳以上65歳未満の者も含まれる。

解答欄（　　）

第25問　life-025　ライフ・寡婦年金・難易度 ★★☆

国民年金の寡婦年金に関する記述として、最も適切なものはどれか。

A　寡婦年金は、夫が老齢基礎年金を受給していた場合でも、妻に支給される。

B　寡婦年金は、婚姻期間が1年以上あれば、妻に支給される。

C　寡婦年金は、子のある妻に限り支給される。

D　寡婦年金は、第1号被保険者としての保険料納付済期間と保険料免除期間を合算して10年以上ある夫が死亡した場合に、夫によって生計を維持され、夫との婚姻関係が10年以上継続した65歳未満の妻に支給される。

解答欄（　　）

第26問 life-026 ライフ・死亡一時金・難易度 ★★☆

国民年金の死亡一時金に関する記述として、最も適切なものはどれか。

(A) 死亡日の前日において、死亡日の属する月の前月までの第1号被保険者としての保険料納付済期間の月数など（一部免除期間は所定の割合で算入）が36月以上ある者が死亡した場合に、その遺族に支給される。

(B) 死亡一時金は、第1号被保険者としての保険料納付済期間が1か月以上あれば支給される。

(C) 死亡一時金は、老齢基礎年金を受けたことがある者が死亡した場合にも支給される。

(D) 死亡一時金は、第2号被保険者としての被保険者期間だけを基に計算される。

解答欄（　　）

第27問 life-027 ライフ・労災保険の休業補償給付・難易度 ★★☆

会社員のKさんは、業務上のケガで10日間仕事を休み、その間の賃金を受けなかった。Kさんの給付基礎日額は12,000円である。この10日間についてKさんが受けられる労災保険の休業補償給付の額として、最も適切なものはどれか。

前提条件
- 休業特別支給金は含めないものとする。
- 部分算定日や他の給付との調整はないものとする。

(A) 72,000円

(B) 50,400円

(C) 56,000円

(D) 84,000円

解答欄（　　）

第28問　life-028　ライフ・付加保険料と国民年金基金・難易度 ★★☆

国民年金の第1号被保険者の付加保険料の納付に関する記述として、最も適切なものはどれか。

前提条件
- 保険料の免除や納付猶予は受けていないものとする。

A　付加保険料は、第2号被保険者も納付することができる。

B　付加保険料の額は、月額200円である。

C　国民年金基金の加入員は、付加保険料を納付することができない。

D　付加保険料は、国民年金基金の加入員であっても、申し出れば納付することができる。

解答欄（　　）

第29問　life-029　ライフ・老齢基礎年金の受給資格期間・難易度 ★☆☆

国民年金の第1号被保険者期間のみを有するLさん（65歳）の記録は、保険料納付済期間6年、保険料全額免除期間（申請免除）3年である。ほかに受給資格期間に算入される期間はない。Lさんの老齢基礎年金の受給資格に関する記述として、最も適切なものはどれか。

前提条件
- 合算対象期間（カラ期間）など、ほかに受給資格期間に算入される期間はないものとする。

A　保険料納付済期間と保険料免除期間を合算して10年に満たないため、老齢基礎年金は支給されない。

B　保険料納付済期間が5年以上あるため、老齢基礎年金が支給される。

C　保険料免除期間は受給資格期間に算入されないが、保険料納付済期間だけで要件を満たすため、老齢基礎年金が支給される。

D　保険料納付済期間と保険料免除期間の合計が9年あり、受給資格期間（25年）に満たないため、支給されない。

解答欄（　　）

第30問 life-030 ライフ・キャッシュフロー表（将来の生活費）・難易度 ★☆☆

キャッシュフロー表を作成する。現在の年間の基本生活費は300万円で、変動率（物価上昇率）を年2%とする。5年後の基本生活費として、最も適切なものはどれか。

前提条件
- 万円未満は四捨五入するものとする。

A 330万円

B 331万円

C 306万円

D 366万円

解答欄（　　）

第31問 life-031 ライフ・厚生年金保険の被保険者（年齢）・難易度 ★☆☆

厚生年金保険法に定める、適用事業所に使用される者が厚生年金保険の被保険者となる年齢の要件として、最も適切なものはどれか。

前提条件
- 適用除外（臨時に使用される者など）には該当しないものとする。

A 65歳未満

B 70歳未満

C 75歳未満

D 年齢の要件はない

解答欄（　　）

第32問 life-032 ライフ・遺族厚生年金の額・難易度 ★★☆

厚生年金保険の被保険者であったIさんが死亡し、妻が遺族厚生年金を受給する。Iさんの被保険者期間を基礎として老齢厚生年金の報酬比例部分の例により計算した額は120万円である。妻が受ける遺族厚生年金の額として、最も適切なものはどれか。

前提条件
- 120万円は、被保険者期間の月数が300月に満たない場合の300月とみなす計算を反映した額とする。
- 中高齢寡婦加算などの加算は考慮しないものとする。
- 妻は遺族基礎年金を受給しないものとする。

A 120万円

B 60万円

C 80万円

D 90万円

解答欄（　　）

第33問 life-033 ライフ・雇用保険の育児休業給付金・難易度 ★★☆

雇用保険の被保険者であるJさんは、育児休業を開始した。休業開始時賃金日額は10,000円である。育児休業の開始から180日以内の、支給日数30日の支給単位期間について支給される育児休業給付金の額として、最も適切なものはどれか。

前提条件
- 支給単位期間中に就業した日・賃金の支払はないものとする。
- 休業開始時賃金日額の上限額・支給額の上限は考慮しないものとする。
- 出生後休業支援給付金は考慮しないものとする。

A 201,000円

B 150,000円

C 200,000円

D 300,000円

解答欄（　　）

第34問　life-034　ライフ・健康保険の保険料の負担・難易度 ★☆☆

健康保険の保険料の負担に関する記述として、最も適切なものはどれか。

(A) 被保険者が保険料の全額を負担する。

(B) 被保険者を使用する事業主が保険料の全額を負担する。

(C) 被保険者と事業主が、それぞれ保険料額の2分の1を負担する。ただし、任意継続被保険者は全額を負担する。

(D) 任意継続被保険者も、退職前の事業主と保険料を2分の1ずつ負担する。

解答欄（　　）

第35問　life-035　ライフ・国民年金の学生納付特例・難易度 ★★☆

国民年金の学生納付特例制度に関する記述として、最も適切なものはどれか。

前提条件
- 学生納付特例の期間の保険料は、追納していないものとする。

(A) 学生納付特例の期間は、老齢基礎年金の年金額に2分の1が反映される。

(B) 学生であれば、申請をしなくても自動的に適用される。

(C) 学生納付特例の期間は、老齢基礎年金の受給資格期間にも算入されない。

(D) 学生納付特例の期間は、老齢基礎年金の受給資格期間に算入されるが、年金額には反映されない。

解答欄（　　）

第36問　life-036　ライフ・労災保険の通勤災害・難易度 ★★☆

労働者災害補償保険法における通勤災害の「通勤」に関する記述として、最も適切なものはどれか。

(A) 通勤とは、労働者が、就業に関し、住居と就業の場所との間の往復などの移動を、合理的な経路及び方法により行うことをいい、業務の性質を有するものを除く。

(B) 通勤途中の災害は、業務災害として扱われる。

(C) 移動の経路を逸脱した場合でも、その逸脱の間に生じた災害は、常に通勤災害となる。

(D) 通勤による負傷は、労災保険の保険給付の対象とならない。

解答欄（　　）

第37問 life-037 ライフ・健康保険の一部負担金（70歳以上）・難易度 ★☆☆

健康保険の被保険者であるKさん（72歳）が、保険医療機関で医療費（療養の給付の費用の額）10万円の治療を受けた。窓口で支払う一部負担金の額として、最も適切なものはどれか。

前提条件
- Kさんは、現役並み所得者（政令で定める報酬の額以上の者）ではないものとする。
- 高額療養費は考慮しないものとする。

A 3万円

B 2万円

C 1万円

D 0円

解答欄（　　）

第38問 life-038 ライフ・確定拠出年金の老齢給付金（受給開始の要件）・難易度 ★★☆

確定拠出年金の老齢給付金を60歳から請求するために必要な通算加入者等期間として、最も適切なものはどれか。

前提条件
- 企業型年金に60歳以上で新たに加入した者の特例は考慮しないものとする。

A 5年以上

B 8年以上

C 10年以上

D 20年以上

解答欄（　　）

第39問 life-039 ライフ・可処分所得・難易度 ★☆☆

会社員のLさんの年収（額面）は800万円である。年間の所得税・住民税は70万円、社会保険料は120万円、生命保険料は30万円である。Lさんの可処分所得として、最も適切なものはどれか。

A 580万円

B 730万円

C 680万円

D 610万円

解答欄（　　）

第40問 life-040 ライフ・雇用保険の基本手当の所定給付日数・難易度 ★★☆

Mさん（50歳）は、自己の都合により会社を退職した。雇用保険の算定基礎期間は22年である。Mさんの基本手当の所定給付日数として、最も適切なものはどれか。

前提条件
- Mさんは、特定受給資格者・特定理由離職者・就職が困難な者のいずれにも該当しないものとする。

A 150日

B 120日

C 90日

D 360日

解答欄（　　）

第41問 life-041 ライフ・雇用保険の適用除外（所定労働時間）・難易度 ★☆☆

雇用保険法における、雇用保険の適用除外に関する記述として、最も適切なものはどれか。

前提条件
- 2026年4月1日時点の法令による。

A 1週間の所定労働時間が20時間未満である者は、原則として、雇用保険が適用されない。

B 1週間の所定労働時間が30時間未満である者は、原則として、雇用保険が適用されない。

C パートタイム労働者は、所定労働時間にかかわらず、雇用保険が適用されない。

D 65歳以上の者は、雇用保険の被保険者になることはない。

解答欄（　　）

第42問 life-042 ライフ・老齢厚生年金の加給年金額・難易度 ★★☆

老齢厚生年金の加給年金額の加算要件に関する記述として、最も適切なものはどれか。

A 年金額の計算の基礎となる被保険者期間の月数が120以上あれば、加算される。

B 年金額の計算の基礎となる被保険者期間の月数が240以上の老齢厚生年金の受給権者に、生計を維持している65歳未満の配偶者などがいる場合に加算される。

C 配偶者の年齢にかかわらず、生計を維持している配偶者がいれば加算される。

D 子については、年齢にかかわらず、生計を維持していれば加算の対象となる。

解答欄（　　）

第43問　life-043　ライフ・厚生年金保険の標準賞与額・難易度 ★★☆

厚生年金保険の被保険者Pさんは、ある月に賞与1,803,500円を受け取った。この月の厚生年金保険の標準賞与額として、最も適切なものはどれか。

A　1,803,500円

B　1,803,000円

C　1,800,000円

D　1,500,000円

解答欄（　　）

第44問　life-044　ライフ・健康保険の保険者・難易度 ★☆☆

健康保険法に定める健康保険（日雇特例被保険者の保険を除く）の保険者として、最も適切なものはどれか。

A　国（厚生労働省）だけ

B　市町村

C　全国健康保険協会及び健康保険組合

D　日本年金機構

解答欄（　　）

第45問　life-045　ライフ・国民年金の任意加入被保険者・難易度 ★★☆

国民年金の任意加入に関する記述として、最も適切なものはどれか。

前提条件
- 第2号被保険者・第3号被保険者は除くものとする。

A　日本国内に住所を有する60歳以上65歳未満の者は、厚生労働大臣に申し出て、国民年金の被保険者となることができる。

B　60歳以上の者は、国民年金に加入することは一切できない。

C　日本国内に住所を有する60歳以上65歳未満の者は、申出をしなくても当然に国民年金の被保険者となる。

D　日本国籍を有していても、日本国内に住所を有しない者は、国民年金に任意加入することはできない。

解答欄（　　）

第46問 life-046 ライフ・国民年金保険料の納付期限・難易度 ★☆☆

国民年金の第1号被保険者の毎月の保険料の納付期限として、最も適切なものはどれか。

前提条件
- 前納は考えないものとする。

A その月の末日

B 翌々月の末日

C 翌年の3月31日

D 翌月末日

解答欄（　　）

第47問 life-047 ライフ・障害基礎年金の保険料納付要件・難易度 ★★☆

障害基礎年金の支給要件のうち、保険料納付要件（原則）に関する記述として、最も適切なものはどれか。

前提条件
- 保険料納付要件の特例は考えないものとする。

A 初診日の前日において、保険料納付済期間と保険料免除期間を合算した期間が、被保険者期間の2分の1以上あること

B 初診日の前日において、初診日の属する月の前々月までの被保険者期間のうち、保険料納付済期間と保険料免除期間を合算した期間が3分の2以上あること

C 初診日に関係なく、受給資格期間（10年）を満たしていること

D 初診日から3年を経過した日において、障害等級に該当すること

解答欄（　　）

第48問 life-048 ライフ・遺族の必要保障額・難易度 ★★☆

世帯主Qさんが死亡した場合の遺族の支出見込み（生活費・教育費・住居費・葬儀費用などの合計）は1億2,000万円である。収入見込みは、遺族年金4,500万円、死亡退職金1,500万円、預貯金1,000万円、配偶者の収入2,000万円である。Qさんの死亡保障の必要保障額として、最も適切なものはどれか。

A 1億2,000万円

B 5,000万円

C 3,000万円

D 2,000万円

解答欄（　　）

第49問　life-049　ライフ・雇用保険の基本手当の受給期間・難易度 ★★☆

雇用保険の基本手当の受給期間（原則）に関する記述として、最も適切なものはどれか。

前提条件
- 就職が困難な者・特定受給資格者の特例、受給期間の延長は考えないものとする。

A　離職の日から起算して6か月

B　離職の日の翌日から起算して1年

C　離職の日の翌日から起算して2年

D　期限はなく、所定給付日数分を受け終わるまで

解答欄（　　）

第50問　life-050　ライフ・厚生年金保険の保険料・難易度 ★★☆

厚生年金保険の被保険者Rさん（第1号厚生年金被保険者）の標準報酬月額は30万円である。Rさんが負担する毎月の厚生年金保険料の額として、最も適切なものはどれか。

前提条件
- 保険料率は1,000分の183とする。
- 賞与は考えないものとする。

A　54,900円

B　27,000円

C　13,725円

D　27,450円

解答欄（　　）